

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3217 2026 年 7 月 5 日

礼拝式順序

(聖霊降臨節第7主日)

司 式 者 井 殿 準
奏 楽 者 菊 池 洋 子

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 149 : 1b ~ 3	司 式 者
讚 美 歌	476 「あめなるよろこび」	一 同
聖 書		司 式 者
	ガラテヤ 5 : 2 ~ 11 (新 P. 349)	
	マルコ 8 : 14 ~ 21 (新 P. 76)	
使徒信条	(93-4-A)	一 同
祈 禱		司 式 者
讚 美 歌	492 「み神をたたえる心こそは」	一 同
説 教	「僅かなパン種が」	司 式 者
祈 禱		”
讚 美 歌	552 「若い日の道を」(1~5節)	一 同
聖 餐 式		司 式 井 殿 牧 師
讚 美 歌	81 「主の食卓を囲み」	一 同
献 金		”
主の祈り	(93-5-A)	”
頌 栄	28 「み栄えあれや」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	40-6 「アーメン」	一 同
	~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~	
報 告		司 式 者
讚 美 歌	91 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讚美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「神のご計画のただ中に」

(使徒言行録 13 : 13 ~ 25)

ピシディア州アンティオキアの会堂で、会衆に対して勧めの言葉を語ってほしいと求められたパウロは、出エジプトの出来事から主イエスの誕生に至る神の救いの歴史を語る。そして、続く 26 節以下では、人々が救い主イエスを受け入れずに殺してしまったこと、しかし、神は主イエスを死者の中から復活させ、救いの約束を果たしてくださり、主を信じる者はユダヤ人であろうと異邦人であろうと皆が救われること、神の救いの歴史はすべての民に及ぶこと、それが神のご計画なのだということを語っている。

神のご計画は人の目には不思議に映る。神は、救い主を十字架につけて殺してしまうという人々の悪、罪をさえ用いて救いの御業を進められる等、思いも寄らない仕方で我々を導かれる。

我々は、しばしば、自分の計画通りに事が運ばず、「これはわたしが思い描いていた未来とは違う」「こんなはずではなかったのに」と嘆くことがあるが、そのような我々に向かってパウロは、今日の聖書の御言葉を通して、我々の計画と共に、神のご計画があるということをお我々に告げる。パウロは、「自分の人生に行き詰まる時、あなたたちは神のご計画に思いを馳せなさい」と告げるのだ。

神は、ご自分に対する人々の不従順をもご自分のご計画の中に取り込み、民を救いへと導いてくださっている。同じように、神は、我々の過ちや失敗さえも用いて、救いのご計画を進めて行く。人生が思い描いていた通りにならなかったとしても、我々の人生は失敗であったわけではないのだ。大切なのは、自分の身に降りかかる思いも寄らない事々を、神のご計画として受け止めて行くことではないだろうか。

神のご計画は我々には計り知れない。しかし、何が起ころうとも、我々の人生は神の愛のご計画のただ中にあるのであって、神は我々のために輝かしい道を用意してくださること、それが神のご計画であることを信じて、我々は、希望と喜びの内に日々を歩み行こう。そして、神の御心を尋ねつつ、主の御心を我が心とし、神のご計画のために用いられる者として歩み行こう。